令和４年度　評価規準（例）

学校名：江戸川区立〇〇小学校

教科	算数	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう！／ココアはいくつ	2				・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしてい
表とグラフ	4	〇簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することに進んで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　D(1)ア	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。＜思・判・表＞	・データを整理することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
たし算	9	〇2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(2)ア(ア)(ウ)、	・2位数＋2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
ひき算	9	〇2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(2)ア(ア)(ウ)(エ)、A(2)イ(ア)】	・2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
長さ	8	〇2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(2)ア(ア)(ウ)(エ)、A(2)イ(ア)】	・2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
100より大きい数	10	〇2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(2)ア(ア)(ウ)(エ)、A(2)イ(ア)】	・3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
たし算とひき算の図	2	加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。 加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。	・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。
たし算とひき算	9	〇百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(2)ア(ア)(イ)	・2位数＋1・2位数＝百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりのない3位数＋1・2位数、百の位からの繰り下がりがない3位数－1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、（　）の意味や用い方について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
何人いるかな	1	重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。		・順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。	
時こくと時間	4	〇時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことに進んで関わろうとする態度を養う。【学習指導要領との関連　C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。＜知・技＞	・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
筆算をつくろう	1	数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深める。		筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。	
水のかさ	7	〇かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
ロボットレース	1	直線の作図の習熟を図る。	・ものさしを用いて直線を作図することができる。		
三角形と四角形	9	〇三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　B(1)ア(ア)(イ)、A(1)イ(ア)、内(5)】	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。＜知・技＞	三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりのものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。＜思・判・表＞	・三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
タングラム	1	図形についての感覚を豊かにする。	身のまわりのものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせて構成することができる。		
かけ算	20	〇乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。（5、2、3、4の段）＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
九九であそぼう	2	九九に習熟する。	・2の段から5の段までの九九が確実にできる。		
かけ算九九づくり	18	〇乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。（6、7、8、9、1の段）＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
九九ジグソーパズル	1	九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。		・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。	
長いものの長さ	5	〇長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さの単位「m」について知り、単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
数をあらわそう	1	1つの数をほかの数の和や差、積としてみるなど、数についての感覚を豊かにする。		・1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。	
九九の表	6	〇乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることに進んで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(3)ア(ウ)(オ)、A(3)イ(ア)、内(4)】	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
はこの形	5	〇長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
1000より大きい数	7	〇4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連　A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)、A(1)イ(ア)、	・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
数のめいろ	1	決められた和になる数の選び方を、筋道を立てて考えることができる。		・決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。	
図をつかって考えよう	5	〇加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場面を図に表すことに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領	・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。＜知・技＞	・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
1を分けて	6	〇1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領	・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。＜知・技＞	・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。＜思・判・表＞	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
お楽しみ会で算数	1	2学年の学習内容を理解し、問題を解くことができる。	・日常の場面から算数の問題を見いだし、文章題を解いたり問題を作ったりすることができる。		
算数をつかって考えよう	1	識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。 グラフの〇の数の合計に着目することが		・日常の場面から算数の問題を見いだし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
2年のまとめ	4	第2学年の学習内容の問題を解決することができる。	第2学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		・第2学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身につくように取り組もうとしている。